

社会福祉法人松戸市社会福祉協議会
令和4年度第2回松戸市居場所づくり全体会議要旨

1 日 時 令和4年7月11日(月) 10時～11時30分

2 会 場 松戸市社会福祉協議会 第1・2ボランティア室

3 議 事

1. 開 会

2. 出席者の確認

3. 挨拶

4. 報 告

(1) 各地区の進捗状況報告について

(2) 「まつど DE つながるステーション」の実施報告について

5. 議 題

(1) 「まつど DE つながるステーション」活動助成金交付要綱の改正について

(2) 「まつど DE つながるステーション」活動費の精算について

(3) 「まつど DE つながるステーション」の承認・活動費の支出について

6. その他

4 出 席 者

(1) 出席委員(10名)

副会長	恩田 忠治	松戸市町会・自治会連合会	会長
委員	安蒜 正己	松戸市町会・自治会連合会	副会長
委員	平川 茂光	松戸市民生児童委員協議会	会長
委員	梶原 栄治	松戸市民生児童委員協議会	副会長
委員	阿部 剛	特定非営利活動法人まつどNPO協議会	理事
委員	松村 大地	特定非営利活動法人まつどNPO協議会	理事
委員	伊東 朱美	松戸市総合政策部	部長
委員	上野 真一	松戸市市民部	部長
委員	大淵 俊介	松戸市健康福祉部	部長
委員	小川 早苗	松戸市社会福祉協議会	副会長

(2) 出席機関(6名)

松戸市総合政策部地域共生課

(3) 事務局(8名)

松戸市社会福祉協議会

5 議題内容

■各地区の進捗状況報告について

松戸市地域共生課より、各地区の進捗状況について説明。

各委員よりいただいたご質問の概要

【質問】

進捗状況が進んだ要因が分かったら説明いただきたい。また、各地区の取組内容や状況を他の地区へ共有する方法について、どのように考えているか。

【回答】

進捗状況が進んだ要因としては、実行委員会の立ち上げがひとつのポイントと考えている。実行委員会が立ち上がることによって、活動内容についての議論が進むため、まだ動きのない地区については、地区意見交換会の際に説明を行うなどの対応を全体会議の構成員の皆様に引き続きご協力いただきながら続けていく。

他の地区への進捗状況の共有方法については、構成団体や活動内容をまとめた一覧資料を事務局で作成し、各地区に説明している。また、市の公式ツイッターを活用して進んでいる地区の状況については逐一発信していこうとしている。

■「まつど DE つながるステーション」の実施報告について

(1) 馬橋地区プレイベント実施報告(令和4年度)

松戸市地域共生課より説明。

各委員からのご質問、感想・ご意見はなし

(2) 小金地区プレイベント実施報告(令和4年度)

松戸市地域共生課より説明。

各委員よりいただいたご質問の概要

【質問】

過去プレイベントを含めて4回実施したが、参加者の年代や参加継続率はどうか。また、回を追うごとに関係性が深まるような会話が見受けられたら教えて欲しい。

【回答】

個人を追っての参加継続率は出していないが、各回の新規参加者数は出している。プレイベントの参加者が22名、第1回の新規参加者が25名中15名、第2回の新規参加者が22名中8名、第3回の新規参加者が29名中12名と、いろいろな方が参加してくれている。

毎回参加してくれている子どもたちの中には農業指導者と顔なじみになっている子もおり、6月の工作ワークショップで鳥よけを作る際には、「どうやって作るの?」と

か「キリで穴を開けて～」などフランクな会話があり、交流が深まっていた。また、ご家族連れのお父さんがキリで穴を開ける力作業を買って出て、子どもたちと交流する様子も見られた。

【質問】

多世代という観点のみならず、障害のあるなしに限らない地域共生といった観点についても理解していただくという視点があるか伺いたい。

【回答】

現状、そこまでの視点は持っていない。今後、時間をかけながら繋がりを作っていければと思っている。

■「まつど DE つながるステーション」活動助成金交付要綱の改正について

事務局より説明。異議なしとして承認された。

各委員よりいただいたご質問の概要

【質問】

第9条の追加文言「ただし、第6条の規定により決定された額と実績報告書の額の差が千円未満の場合は、これを千円に切り上げた額とする。」について、変更の意図を教えて欲しい。

【回答】

次の活動に活かしていただきたいという観点から、端数を切り上げた額を助成対象とし、実績額との差分は僅かだが繰越金という形にできればと思っている。

■「まつど DE つながるステーション」活動費の精算について(馬橋地区)

松戸市地域共生課より説明。異議なしとして承認された。

馬橋地区プレイベント事業報告

プレイベント名	まばし DE エンジョイ！～昔遊びで楽しむ居場所～
目的	地域で子どもたちが交流したり、子ども同士で外遊びをする機会が減少している現代社会において、地域の子どもから高齢者までの多世代交流のきっかけを“昔遊び”を通じて進めていく。
開催日時	令和4年5月28日(土) 10時～12時
開催場所	八ヶ崎小学校 体育館
開催内容	・昔遊びを通じた多世代交流 ・馬橋地区および市内の各種情報提供 ・アンケート(136名分)

主な対象者	子どもから高齢者まで多世代が参加
参加者人数	192 人
運営者人数	35 人
広報手段	チラシ配布・ポスター掲示／町会・自治会の掲示板／ホームページ・SNS投稿／その他(口コミ等)
支出	40,081 円(うち 81 円は実行委員会有志寄付金により支出)
実績報告額	40,000 円

■「まつど DE つながるステーション」の承認・活動費の支出について

(1) 東部地区

松戸市地域共生課より説明。異議なしとして承認された。

東部地区ステーションの事業計画

ステーション名	東部地区「まつど DE つながるステーション」
目的	ステーション活動を通じて、多世代間交流の機会を創出する。
開催日	令和 4 年 8 月 20 日(土) 令和 4 年 9 月～令和 5 年 3 月(毎月開催予定)
開催場所	松戸市大橋 1102 等
開催内容	・駄菓子カフェ、野菜直売等を活用した活動を通じての多世代間交流 ・東部地区および市内の各種情報提供 ・アンケートの実施
主な対象者	子どもとその保護者、高齢者、高校生等の若者 等
参加者人数	20 人程度
運営者人数	10 人程度
広報手段	チラシ配布／ポスター掲示／SNS投稿／その他(口コミ等)
助成金申請額	320,000 円

各委員よりいただいたご質問の概要

【質問】

開催場所について住所の記載のみだが、施設名はあるのか。

【回答】

元はテナントだった場所だが、個人のご厚意により地域活動の場として誰でも過ごせる町の休憩所として開放されているスペースとなる。

(2) 馬橋地区

松戸市地域共生課より説明。異議なしとして承認された。

馬橋地区ステーションの事業計画

ステーション名	まばしDEエンジョイ！～昔遊びで楽しむ居場所～
目的	地域で子どもたちが交流したり、子ども同士で外遊びをする機会が減少している現代社会において、地域の子どものから高齢者までの多世代交流のきっかけを“昔遊び”を通じて進めていく。
開催日	令和4年9月25日(日) 令和4年10月～令和5年3月(毎月開催予定)
開催場所	馬橋東市民センター 等
開催内容	・昔遊びを通じた多世代交流 ・馬橋地区および市内の各種情報提供 ・アンケートの実施
主な対象者	子どもとその保護者、地域の高齢者、中高生等
参加者人数	30人程度
運営者人数	10人程度
広報手段	チラシ配布／ポスター掲示／SNS投稿／その他(口コミ等)
助成金申請額	280,000円

各委員よりいただいた感想・ご意見の概要

【感想・ご意見】

昔遊びという切り口はとても良く、子どもたちが楽しみにしてくれるものになるだろうと感じた。ただ、遊びの中身を見るとどちらかというと室内で楽しむものが中心となっているため、子ども心としてワクワクドキドキするようなスリルのある遊びを子どもたちの発想の中で作っていくことを、運営の中で後押しできればよいと思った。

(3) 六実六高台地区

松戸市地域共生課より説明。異議なしとして承認された。

六実六高台地区ステーションの事業計画

ステーション名	つどう de6∞6 (ツドウデロクロク)
目的	既存の居場所等に来る機会がなかった方々の参加を目指し、多世代間および運営者間の交流促進、つながりづくりを目的とする。
開催日	令和4年8月23日(火) 令和4年9月～令和5年3月(毎月開催予定)
開催場所	六実六高台地区内の各拠点を巡回して実施
開催内容	・ユニバーサルスポーツ、体操、昔遊びなどのプログラムを通じて、多世代間交流および居場所運営者間交流を図る ・六実六高台地区および市内の各種情報提供 ・アンケートの実施

主な対象者	六実六高台地区の方々および居場所運営などに関わるの方々 等
参加者人数	10～20 人程度
運営者人数	10 人程度
広報手段	チラシ配布／ポスター掲示／SNS投稿／その他（口コミ等）
助成金申請額	320,000 円

各委員よりいただいたご質問の概要

【質問】

ユニバーサルスポーツとは具体的にどのようなものを指すのか。

【回答】

「ボッチャ」を検討しており、実行委員の方が9月にボッチャの講義を受ける予定。

各委員よりいただいた感想・ご意見の概要

【感想・ご意見】

ボッチャについては、昨年のオリンピック・パラリンピックで松戸市として啓発活動を行っていた関係で民間企業とのつながりがある。他にも民生委員や大学生などいろいろな方に協力してもらいながら活動していくと開催側の負担が減るかもしれないので、そういったことも検討しながら進めていっていただきたい。また、スポーツ推進委員にも参画してもらったほうが良いと思う。

6 その他

- ・今後の予定…令和4年度第3回松戸市居場所づくり全体会議の開催
日時:令和4年11月18日(金) 午後1時30分～